

調査概要

- 調査対象 ・ 入学者 1264 名
- 調査時期 ・ 2023年4月
- 調査方法 ・ WEBリサーチ
- 調査項目 ・ 本学にて作成
- 回収数・有効サンプル数 ・ 回収数 1180 s
有効サンプル数 1180 s

学部・学科名	新入生数	回収数	回収率
栄養科学科	214	215	100.5
フード・マネジメント学科	118	109	92.4
教育学部	250	234	93.6
流通科学部	262	227	86.6
食物栄養学科	86	78	90.7
キャリア開発学科	141	131	92.9
幼児保育学科	193	186	96.4
全体	1264	1180	93.4

※栄養科学科の回収数が、新入生数より1件多くなっている。
回答者の誤入力によるものと思われる。

1.本学を選んだ理由

あなたが本学を選んだ理由を選択してください。
(複数回答)

・志望順位別

次に、志望順位と理由の関係を視覚的に確認するため、志望順位別のクロス表を使ってコレスポネンス分析を行った。コレスポネンス分析では、項目間の関連性を視覚化し、関連性の強い項目ほど近くに布置される。第1志望では、「カリキュラム（授業内容）が充実している」、「本学で専門的な知識や技術を学び、身に付けたい」、「就職実績（進学実績）が良い」が近傍に布置されている。逆に、第3志望では、「地元の大学である」、「保護者の勧め」、「地元に行きたい学校がなかった（地元を出たかった）」などが近傍にみられる。第1志望を増やすには、学部・学科の魅力づくりやその訴求の必要性が窺える。

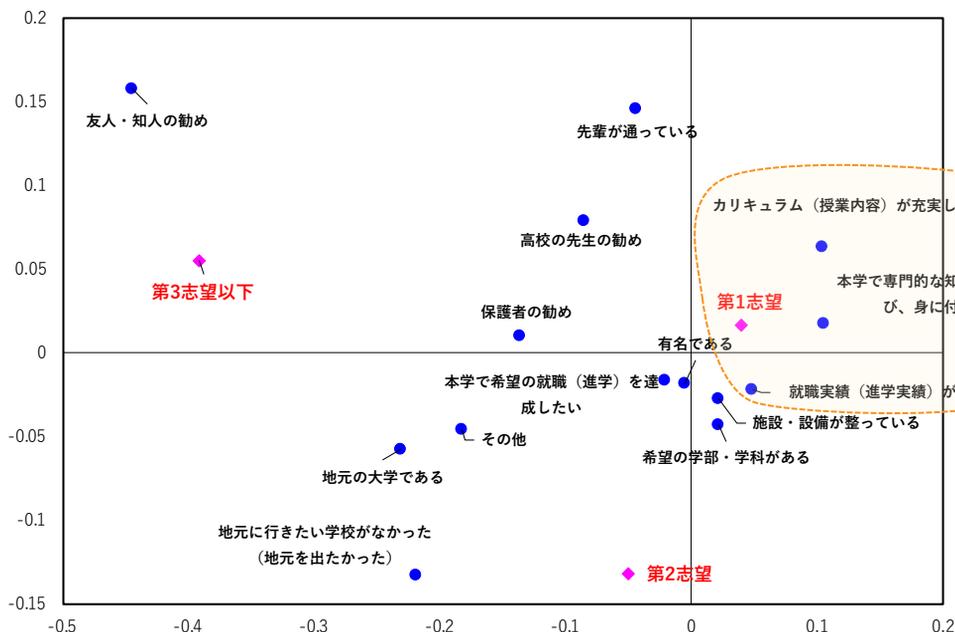
(単位：%)

	n	希望の学部・学科がある	就職実績（進学実績）が良い	カリキュラム（授業内容）が充実している	本学で専門的な知識や技術を学び、身に付けたい	施設・設備が整っている	地元の大学である	有名である	高校の先生の勧め
第1志望	885	71.1	63.4	47.1	43.6	31.2	21.7	23.5	22.8
第2志望	165	69.1	57.0	30.9	33.3	29.1	26.7	21.8	17.0
第3志望以下	83	54.2	43.4	26.5	22.9	24.1	37.3	20.5	27.7

	n	本学で希望の就職（進学）を達成したい	保護者の勧め	先輩が通っている	友人・知人の勧め	地元に行きたい学校がなかった（地元を出たかった）	その他	無回答
第1志望	885	16.8	15.8	9.8	5.3	2.9	1.6	0.0
第2志望	165	15.8	15.2	5.5	4.2	4.2	1.8	0.6
第3志望以下	83	15.7	21.7	10.8	14.5	4.8	2.4	1.2

<コレスポネンス分析>

2軸



1軸

2.受験(入学)したいと思った決め手

あなたが本学を受験したいと思った点(入学する決め手になった点)を、入力してください。(自由回答)

- ・本学を受験したいと思った(入学する決め手になった)点を聞いた。1090名(全体の92.4%)の新入生から回答が得られた。挙げられたキーワードから、学生が学科に対してどのような点を魅力に感じたのか、また、他大学に比べて何が良いと感じたのか。何が本学の受験の動機となったのかを探ることが出来る。広報において、学生目線からのメッセージを開発するヒントや素材になると思われる。

▶ 栄養科学科

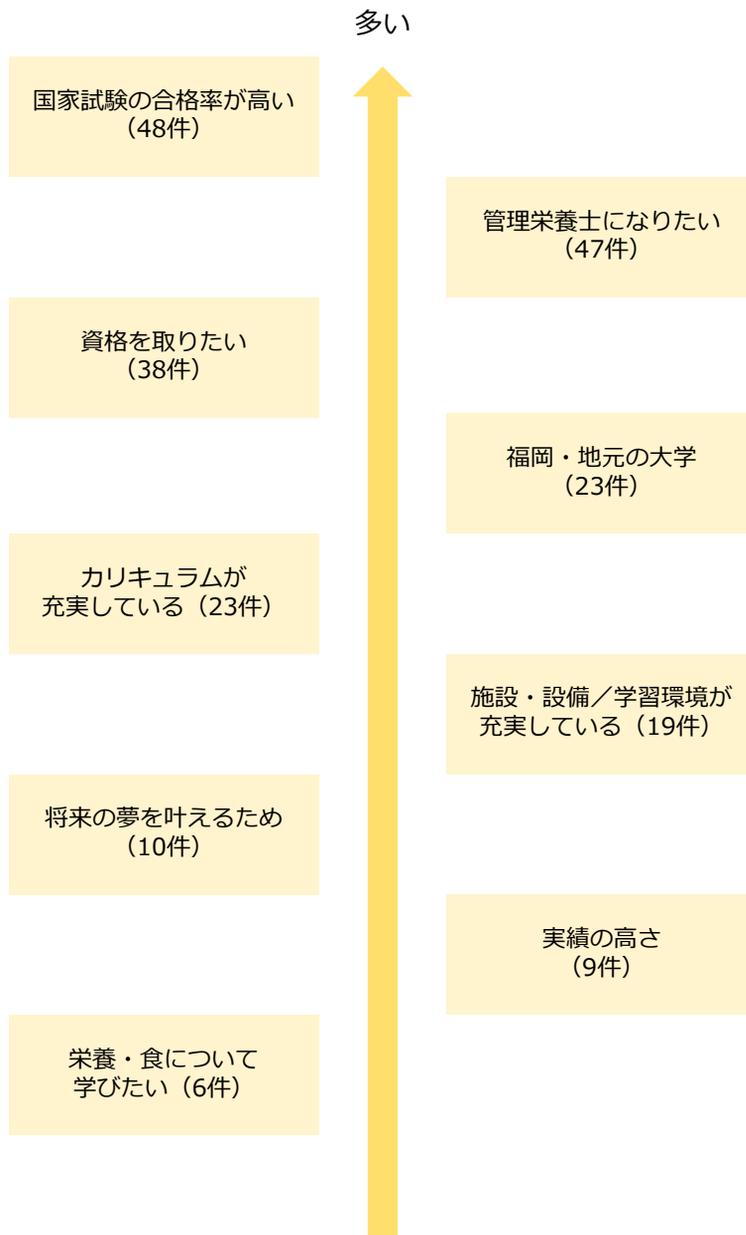
①頻出キーワード(頻度5以上)

- ・203名から回答が得られた(全体の94.4%)。
- ・頻出キーワード(頻度5以上)をみると、下表のようになっている。「管理栄養士」112件、「資格」37件、「合格率」36件、「国家試験」34件、「栄養」21件といったキーワードが多くみられる。

抽出語	件数	抽出語	件数	抽出語	件数
管理栄養士	112	行く	13	実習	7
高い	43	就職率	12	就職	7
栄養科学科	40	取る	11	通える	7
資格	37	国家資格	10	福岡	7
合格率	36	設備	10	免許	7
国家試験	34	学べる	9	カリキュラム	6
学ぶ	33	学校	9	家庭科	6
感じる	29	多い	9	興味	6
思う	29	家	8	受験	6
魅力	28	実績	8	知識	6
栄養	21	取れる	8	勉強	6
充実	20	将来	8	有名	6
取得	17	整う	8	やすい	5
大学	17	専門的	8	スポーツ栄養	5
栄養学	15	中村	8	距離	5
食	14	合格	7	授業	5
栄養科学部	13	施設	7	就職実績	5
				先生	5

③クラスター分析

- ・共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の9のグループに分類された。
- ・多く語られている話題は、「国家試験の合格率が高い」（48件）、「管理栄養士になりたい」（47件）、「資格を取りたい」（38件）となっている。



▶ フード・マネジメント学科

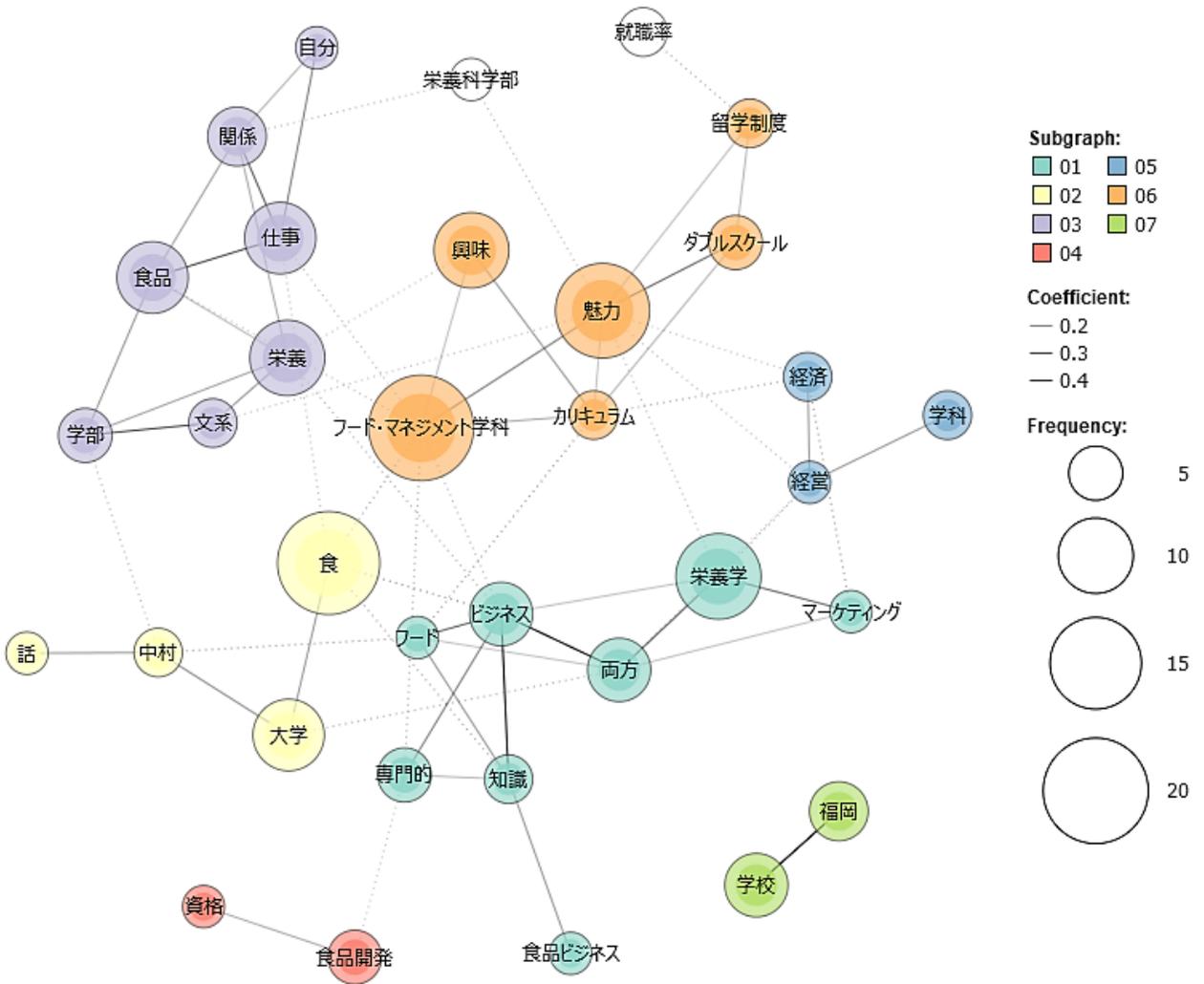
① 頻出キーワード (頻度3以上)

- ・ 100名から回答が得られた (全体の91.7%)。
- ・ 頻出キーワード(頻度3以上)をみると、下表のようになっている。
「食」19件、「魅力」16件、「栄養学」「将来」13件、「栄養」「興味」10件といったキーワードが多くみられる。

抽出語	件数	抽出語	件数
フード・マネジメント学科	20	専門的	5
学ぶ	20	夢	5
学べる	19	良い	5
食	19	カリキュラム	4
感じる	17	学科	4
魅力	16	経済	4
栄養学	13	就職率	4
将来	13	知識	4
思う	11	中村	4
栄養	10	珍しい	4
興味	10	文系	4
仕事	9	留学制度	4
食品	9	フード	3
大学	9	マーケティング	3
ビジネス	7	栄養科学部	3
学校	7	経営	3
行く	7	考える	3
就く	7	資格	3
両方	7	自分	3
関係	6	出来る	3
福岡	6	食品ビジネス	3
ダブルスクール	5	通う	3
学部	5	聞く	3
食品開発	5	話	3

②共起ネットワーク図

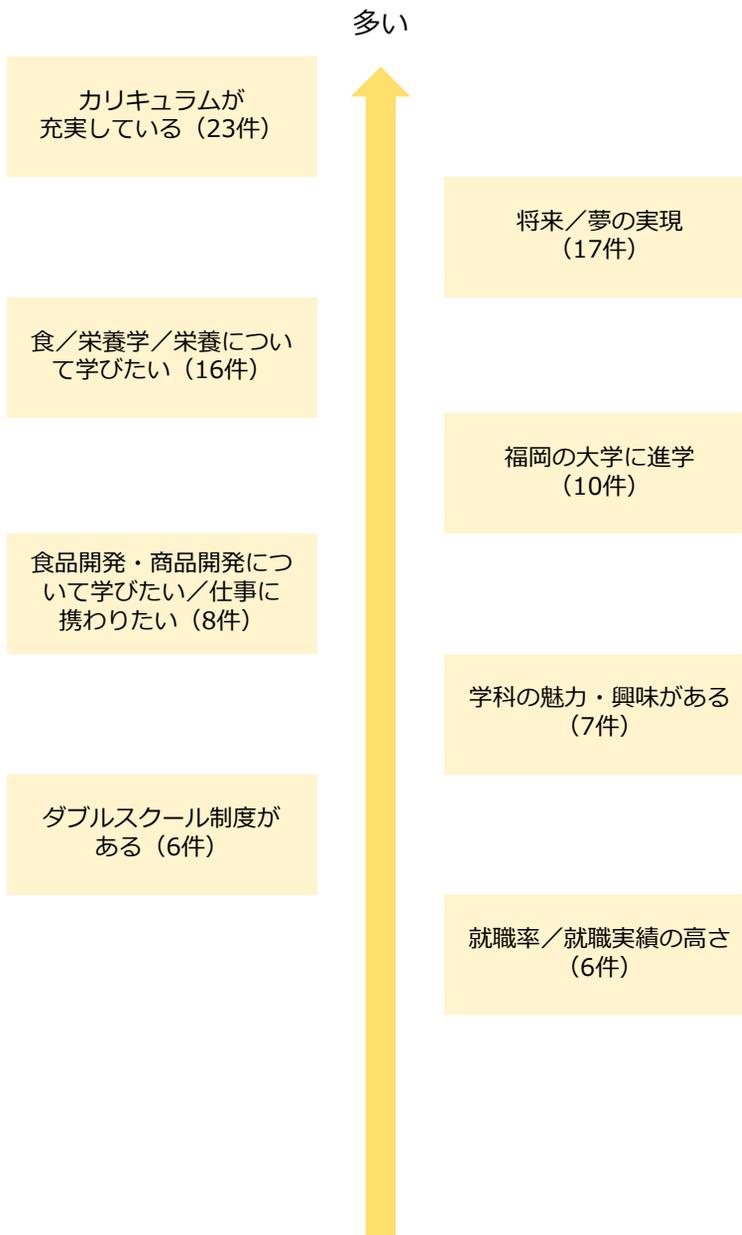
- 共起ネットワーク図は、出現パターンの似通った語（共起度の強い語）を線で結んだネットワークを描くことができる。フード・マネジメント学科においては、共起関係は7のグループに分類された。共起ネットワーク図から、話題の全体像を探る。それぞれの分類における語のつながり（出現パターン）は、下図のようになっている。



※頻度3以上(35語を使用)

③クラスター分析

- ・共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の8のグループに分類された。
- ・多く語られている話題は、「カリキュラムが充実している」（23件）、「将来／夢の実現」（17件）、「食／栄養学／栄養について学びたい」（16件）となっている。



▶ 教育学部

① 頻出キーワード (頻度5以上)

- ・ 223名から回答が得られた（全体の95.3%）。
- ・ 頻出キーワード(頻度5以上)をみると、下表のようになっている。
「就職率」27件、「小学校」24件、「幼稚園教諭」23件、「免許」20件、「保育士」19件といったキーワードが多くみられる。

抽出語	件数	抽出語	件数	抽出語	件数
教育学部	57	学科	13	私立大学	7
高い	40	合格率	13	就職	7
感じる	33	児童幼児教育	13	将来	7
魅力	28	取れる	13	専門的	7
就職率	27	知識	13	中村学園大学	7
学ぶ	25	学校	12	保育	7
思う	25	取る	12	幼稚園	7
小学校	24	家	11	カリキュラム	6
大学	24	教員採用試験	11	九州	6
先生	23	実習	11	採用	6
幼稚園教諭	23	実績	10	就職実績	6
免許	20	取得	10	通える	6
良い	20	学べる	9	勧める	5
保育士	19	高校	9	環境	5
行く	18	自分	9	距離	5
教員	17	中村	9	興味	5
福岡	17	聞く	9	合格	5
資格	16	希望	8	子供	5
教育	15	夢	8	授業	5
充実	15	教師	7	身	5
小学校教諭	14	近い	7	先輩	5
				通る	5

③クラスター分析

- ・ 共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の12のグループに分類された。
- ・ 多く語られている話題は、「就職率／就職実績が高い」（38件）、「福岡・地元の大学」（27件）、「施設／設備・学習環境が充実している」（25件）となっている。



① 頻出キーワード (頻度5以上)

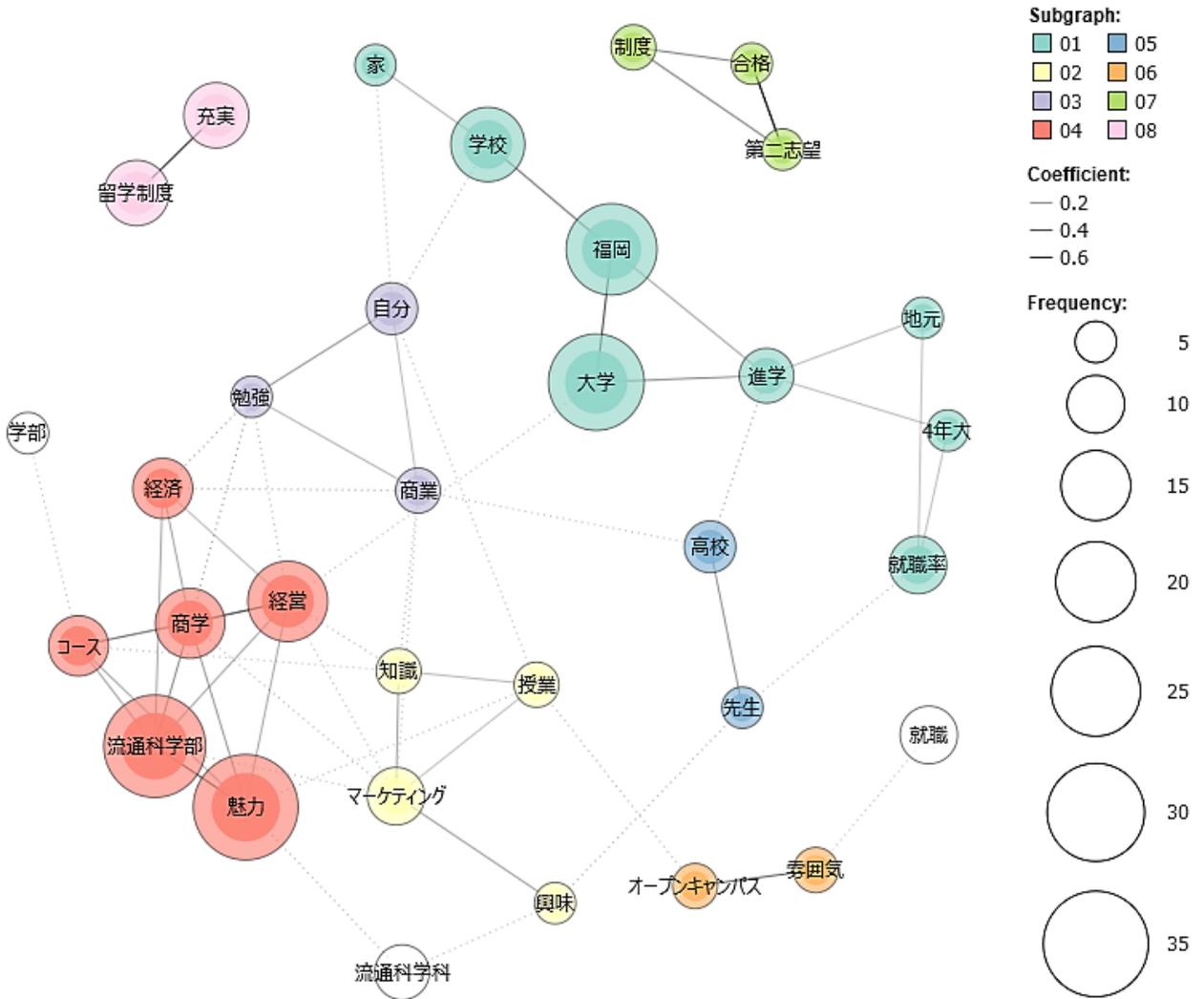
- ・ 198名から回答が得られた (全体の87.2%)。
- ・ 頻出キーワード(頻度5以上)をみると、下表のようになっている。
「福岡」26件、「経営」19件、「商学」15件、「留学制度」13件、「経済」11件といったキーワードが多くみられる。

抽出語	件数	抽出語	件数
学ぶ	35	通える	9
感じる	35	流通科学科	9
魅力	35	高校	8
流通科学部	33	自分	8
大学	28	強い	7
福岡	26	オープンキャンパス	6
行く	25	高い	6
思う	22	授業	6
経営	19	商業	6
学校	16	制度	6
学べる	15	知識	6
商学	15	幅広い	6
充実	13	雰囲気	6
留学制度	13	4年大	5
良い	13	家	5
経済	11	学部	5
マーケティング	10	興味	5
資格	10	合格	5
就職	10	先生	5
就職率	10	第二志望	5
将来	10	地元	5
コース	9	通う	5
進学	9	勉強	5

②共起ネットワーク図

・共起ネットワーク図は、出現パターンの似通った語（共起度の強い語）を線で結んだネットワークを描くことができる。流通科学部においては、共起関係は8のグループに分類された。共起ネットワーク図から、話題の全体像を探る。

それぞれの分類における語のつながり（出現パターン）は、下図のようになっている。



※頻度5以上(34語を使用)

③クラスター分析

- ・共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の13のグループに分類された。
- ・多く語られている話題は、「福岡・地元の大学」（43件）、「カリキュラムが充実している」（25件）、「就職率／就職実績が高い」（19件）となっている。



▶ 食物栄養学科

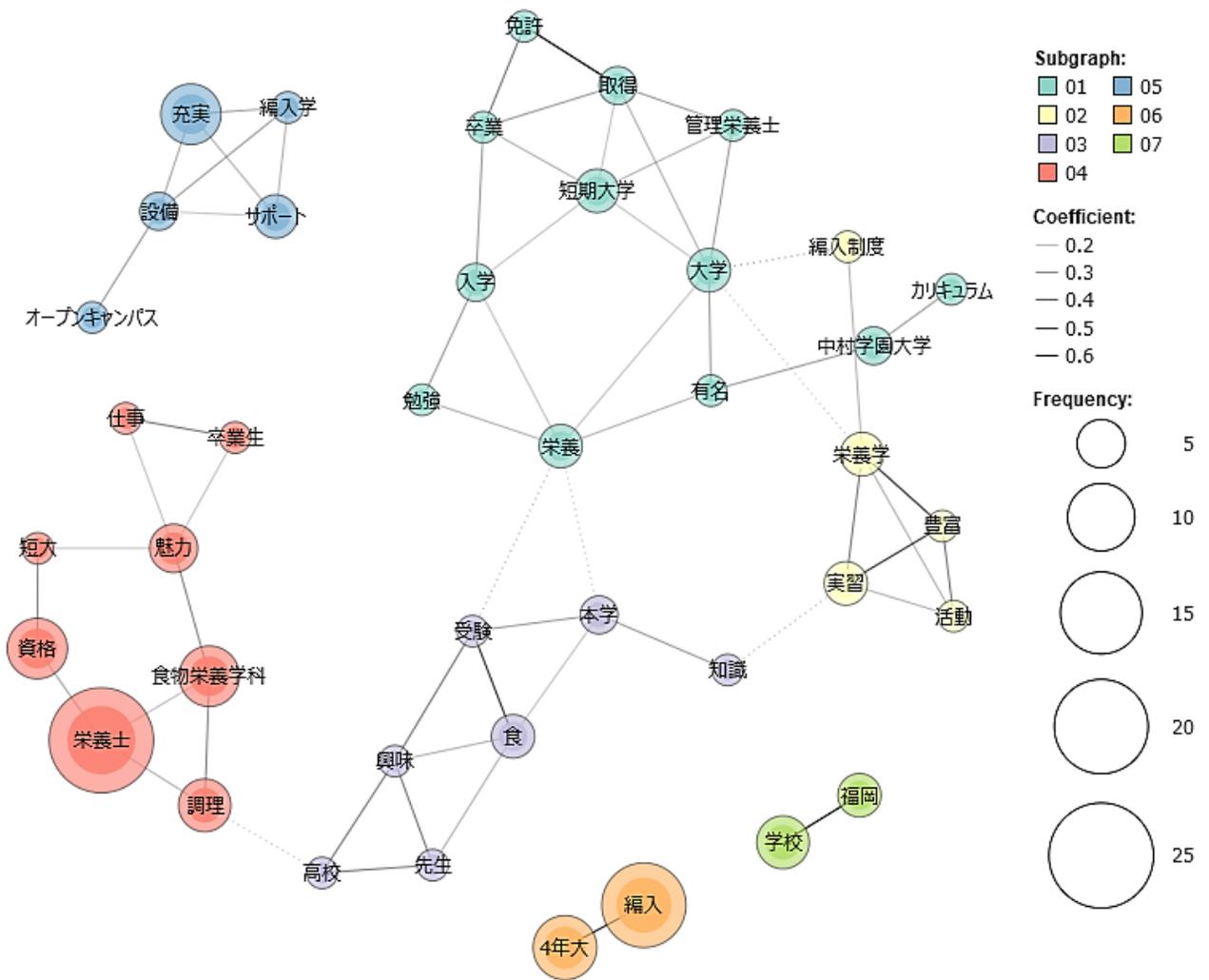
① 頻出キーワード (頻度2以上)

- ・ 67名から回答が得られた (全体の85.9%)。
- ・ 頻出キーワード(頻度2以上)をみると、下表のようになっている。
「栄養士」25件、「編入」16件、「4年大」9件、「資格」7件、「調理」5件といったキーワードが多くみられる。

抽出語	件数	抽出語	件数	抽出語	件数
栄養士	25	学べる	3	高い	2
編入	16	強い	3	高校	2
思う	11	取る	3	仕事	2
4年大	9	取れる	3	受験	2
充実	8	取得	3	就く	2
食物栄養学科	8	設備	3	将来	2
感じる	7	多い	3	先生	2
資格	7	大学	3	卒業	2
学校	6	中村学園大学	3	卒業生	2
学ぶ	5	調理実習	3	短大	2
行く	5	入学	3	知識	2
調理	5	本学	3	通う	2
魅力	5	オープンキャンパス	2	入れる	2
サポート	4	カリキュラム	2	編入学	2
栄養	4	活動	2	編入制度	2
栄養学	4	勧める	2	勉強	2
実習	4	管理栄養士	2	豊富	2
食	4	興味	2	免許	2
短期大学	4	言う	2	有名	2
福岡	4	考える	2		

②共起ネットワーク図

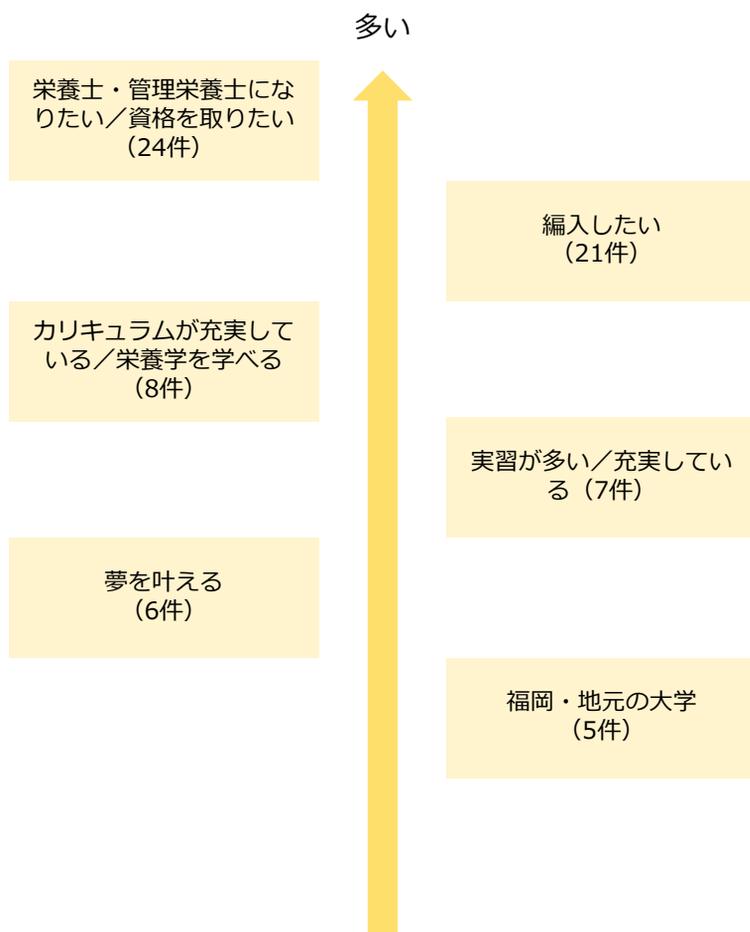
・共起ネットワーク図は、出現パターンの似通った語（共起度の強い語）を線で結んだネットワークを描くことができる。食物栄養学科においては、共起関係は7のグループに分類された。共起ネットワーク図から、話題の全体像を探る。
 それぞれの分類における語のつながり（出現パターン）は、下図のようになっている。



※頻度2以上(42語を使用)

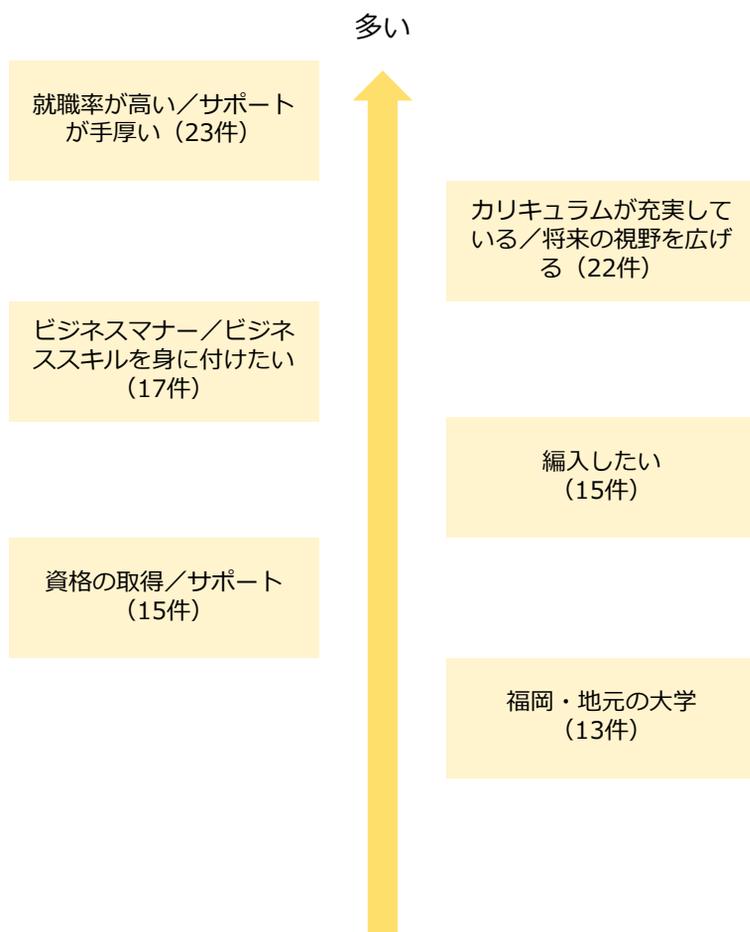
③クラスター分析

- ・共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の6のグループに分類された。
- ・多く語られている話題は、「栄養士・管理栄養士になりたい／資格を取りたい」（24件）、「編入したい」（21件）、「カリキュラムが充実している／栄養学を学べる」（10件）となっている。



③クラスター分析

- ・ 共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の6のグループに分類された。
- ・ 多く語られている話題は、「就職率が高い／サポートが手厚い」（23件）、「カリキュラムが充実している／将来の視野を広げる」（22件）、「ビジネスマナー／ビジネススキルを身に付けたい」（17件）となっている。



▶ 幼児保育学科

① 頻出キーワード (頻度4以上)

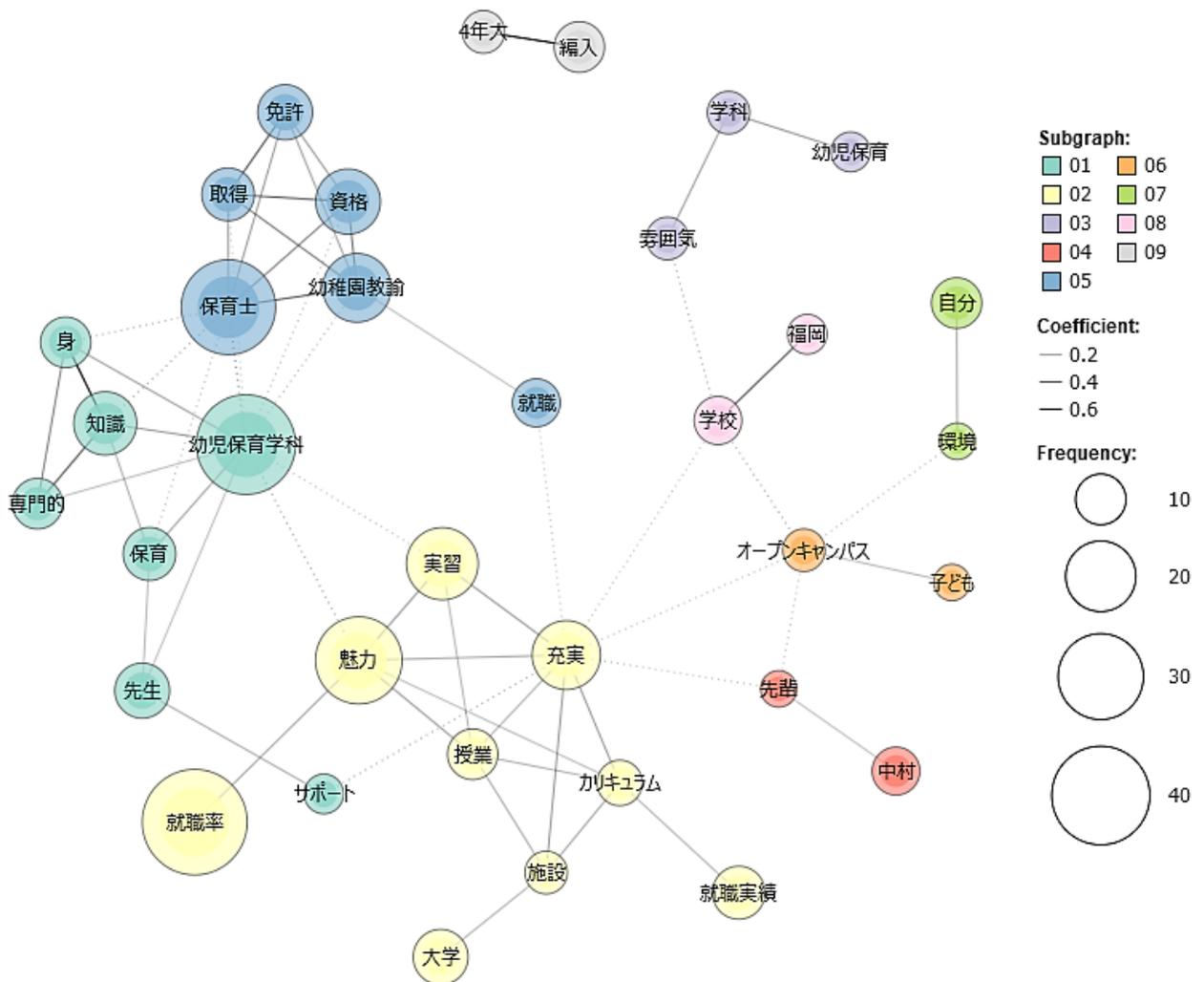
- ・ 182名から回答が得られた (全体の97.8%)。
- ・ 頻出キーワード(頻度4以上)をみると、下表のようになっている。
「就職率」46件、「保育士」35件、「実習」21件、「幼稚園教諭」18件、「資格」「知識」16件
といったキーワードが多くみられる。

抽出語	件数	抽出語	件数	抽出語	件数
就職率	46	身	10	取る	5
幼児保育学科	41	専門的	10	手厚い	5
高い	38	編入	10	設備	5
思う	35	学校	9	先輩	5
保育士	35	就職	9	多く	5
学ぶ	30	カリキュラム	8	聞く	5
魅力	30	行く	8	夢	5
感じる	29	将来	8	目指す	5
実習	21	中村	8	オペレッタ	4
充実	18	4年大	7	学び	4
幼稚園教諭	18	オープンキャンパス	7	興味	4
資格	16	学科	7	高校	4
知識	16	施設	7	合う	4
良い	15	取れる	7	子ども	4
多い	12	雰囲気	7	指導	4
大学	12	サポート	6	専門	4
取得	11	学べる	6	短大	4
就職実績	11	整う	6	中村学園大学	4
先生	11	福岡	6	通る	4
保育	11	幼児保育	6	内容	4
免許	11	環境	5	有名	4
自分	10	強い	5	話	4
授業	10	考える	5		

②共起ネットワーク図

・共起ネットワーク図は、出現パターンの似通った語（共起度の強い語）を線で結んだネットワークを描くことが出来る。幼児保育学科においては、共起関係は9のグループに分類された。共起ネットワーク図から、話題の全体像を探る。

それぞれの分類における語のつながり（出現パターン）は、下図のようにになっている。



※頻度5以上(37語を使用)

③クラスター分析

- ・共起ネットワーク図により把握した全体像や出現パターンを参考に、クラスター分析を行った。受験したいと思った点（入学する決め手になった点）は、次の13のグループに分類された。
- ・多く語られている話題は、「就職率が高い」（50件）、「保育士になりたい／資格を取りたい」（40件）、「実習が多い／充実している」（19件）となっている。



3.併願をした理由

<併願してよかったと思うこと>

- ・併願してよかったと思うことを聞くと、次のような意見が挙げられた。

チャンス・機会・可能性が増える、広がった (42件)

学部・学科

- ・1日目の入試が自信なくても、まだチャンスがあると思えたから。(栄)
 - ・自分の行きたい学校へ合格するチャンスが増える(栄)
 - ・チャンスが増えた(栄)
 - ・チャンスが増えたこと。(栄)
 - ・受ける機会が増えたこと(栄)
 - ・受験のチャンスが増えた点。(栄)
 - ・チャンスがたくさんあったこと。(栄)
 - ・可能性が上がる(フ)
 - ・チャンスが増える(フ)
 - ・どこかの日程で失敗してもチャンスが複数回あるので挽回できること(フ)
 - ・中村学園大学に合格して学べるチャンスが増えたこと。(フ)
 - ・チャンスが増えること。(フ)
 - ・3回もチャンスがあるところ。(フ)
 - ・2つ以上の学部を受験することでチャンスが増えたから良かった。(教)
 - ・チャンスが増えたこと。(教)
 - ・一回こけてももう一度チャンスを得られること。(教)
 - ・共通テスト利用と一般選抜の2回合格できるチャンスが得られるから。(教)
 - ・チャンスが増える(教)
 - ・チャンスが2回あった。(教)
 - ・同じ学科を受験、2回もチャンスがあった。(教)
 - ・二回チャンスがあるということ。(教)
 - ・入学のチャンスが増えたこと。(教)
 - ・教育学部を前期A・B方式、共通テスト利用で受験(教)
- チャンスが増えるため、落ち着いて試験に臨めたこと。
- ・何度も挑戦できる。自分の得意科目で受けられる(教)
 - ・前期と後期を受けたのですがチャンスが増えるという点がメリットだと思います。(流)
 - ・チャンスが多かった。(流)
 - ・たくさんのチャンスがあること。(流)
 - ・受験する機会が増えたこと。(流)
 - ・チャンスが増える(流)
 - ・チャンスが増える。(流)
 - ・同じ学科を3回受験できた。(流)

安心、余裕ができる、プレッシャー、緊張しない (62件)**学部・学科**

- ・併願することで、安心材料ができる。(栄)
- ・安心感がある(栄)
- ・併願しない場合よりも緊張がなく落ち着いて解けたと思います(栄)
- ・安心できた(栄)
- ・複数の教科を受けることで安心することができた。(栄)
- ・チャンスが何回かあると思えば少し楽になったこと(栄)
- ・一般選抜の時に、リラックスして試験に臨めたこと。(栄)
- ・共通テスト利用も使うことで精神的な余裕を持って、一般選抜に臨むことができた。(教)
- ・安心して試験に挑むことができる(教)
- ・安心感がある。(教)
- ・共通テスト利用も使うことで精神的な余裕を持って、一般選抜に臨むことができた。(教)
- ・まだチャンスがあると多少安心できた(教)
- ・大学に落ちたとしても短大に受かる可能性があるから安心できた。(教)
- ・A方式のときは少し緊張してしまっていたけどB日程のときは少し緊張がほぐれて受験することが出来たこと。(教)
- ・安心できた(教)
- ・複数回チャンスがあったので安心してできた(教)
- ・安心感がある。(教)
- ・1回のみ受験よりも可能性があって緊張しすぎることなく受験に挑めたこと(教)
- ・ひとつに絞るよりも、万が一の時の安心感があった。(教)
- ・安心感(教)
- ・教育学部は私の学力ではぎりぎりだったので、短期大学部との併願で余裕をもって受験に臨めた(教)
- ・安心できた(教)
- ・1回の受験で本調子でなくても、もう一度チャンスがあると心に余裕ができたこと。(教)
- ・1回のみ受験よりも可能性があって緊張しすぎることなく受験に挑めたこと(教)
- ・教育学部を前期A・B方式、共通テスト利用で受験チャンスが増えるため、落ち着いて試験に臨めたこと。(教)
- ・複数受けたらどこかには受かるかもしれないという心の保険になった。(教)
- ・試験というものに慣れることができる。不安を少し減らすことができる。(教)
- ・何度も受験を重ねたおかげで、後期では少し自信をもって受験することができた(教)
- ・一度も失敗できないという不安が軽減されたこと。(教)
- ・二回以上受けれることで落ち着いて試験にのぞめた。(教)
- ・合格するチャンスが1つでも多いと考えると少し不安が和らいだ(教)
- ・受験の機会が2回以上あったことで肩の力を抜いて試験に臨めた。(教)

チャンス・機会・可能性が増える、広がった (42件)	学部・学科
・チャンスが増えること	(食)
・大学と短大を受けることによって中村学園に通える可能性を高めた	(食)
・たとえ、どっちかがだめだったとしてもまだもう一個のほうを受かる可能性があると思ったから	(食)
・栄養科学科落ちたけど3回受けれてよかったです	(食)
・チャレンジできる回数が増えること。	(食)
・一度のテストで第一志望がだめでも第二志望へ繋がる点。	(キ)
・機会が増える	(幼)
・受験の幅が広がった	(幼)
・短大は共通テスト利用と一般選抜を受けて、チャンスが2回あると思うと少し安心して受けることができた。	(幼)
・1回の受験で本学に入学出来るチャンスが2回あることが併願して良かったと思いました。	(幼)
・2回受けれることでチャンスが増えたこと。	(幼)

割引、割安である (5件)	学部・学科
・割引があったこと	(栄)
・同じ学科を受けると割引されて助かった。	(フ)
・受験料が安くなる	(教)
・同じ学科を2回受験お金も割引で受験できた。	(幼)
・大学と短大を受験したので、短大の受験料がかからなかった	(幼)

安心、余裕ができる、プレッシャー、緊張しない (62件)	学部・学科
・入試の際微量ではあるが心の余裕ができたこと。	(栄)
・2回目以降緊張することなく受験できた	(栄)
・前期を二回受験できたので、受験に対する緊張や不安を和らげることができました。	(栄)
・どちらかは受かるだろうという安心感があったこと。	(栄)
・少しですが安心できました。	(栄)
・共通テストでボーダー以上の得点だったので、気持ちに余裕をもって一般選抜を受けることができました。	(栄)
・安心材料になる	(栄)
・少し安心感がありました。	(栄)
・たくさん受験していたから安心感があった。	(栄)
・安心感があること	(栄)
・安心感を得られたこと。	(栄)
・一つの試験に対する緊張が少し和らいだ。	(栄)
・フードマネジメントで緊張してしまっただけで本命は2日目だったので緊張することなくうけたこと	(栄)

安心、余裕ができる、プレッシャー、緊張しない (62件)	学部・学科
・ A方式、B方式、共通テスト利用すべて受けたが、どれもさほど緊張せず実力を出せたと思う。	(流)
・ 少し安心できる	(流)
・ 中村の4年大と短大両方を受けることで中村に通える確率が上がることに安心感がありました。	(流)
・ 1回目はすごく緊張したけど、2回目は1回来たのであまり緊張せずに受験に臨めたこと。	(流)
・ プレッシャーが減る	(流)
・ 精神的な余裕が生まれるし、初日の体験を、後の日にダイレクトに生かせる点。	(流)
・ 緊張が取れる	(流)
・ 前期では不合格だったが後期も受けれたため少し気分が楽になった	(流)
・ 不合格の不安を和らげることができる。	(流)
・ その日の体調もあり、同じ学科を2度受験出来て良かった。	(流)
・ 精神的に楽になれた	(流)
・ 複数回受けることでチャンスが広がるし、試験に慣れてくるので良いと思う	(流)
・ 入試のチャンスが増えたので気持ち的にも多少楽になった。	(食)
・ 面接などをして緊張したけど二回目に受験したときのほうが落ち着くことが早くできた	(キ)
・ 落ちた際の安心感	(キ)
・ 1つで受験するよりも少し精神的余裕が生まれた	(キ)

雰囲気・場所・テストに慣れる (12件)	学部・学科
・ 1度きりの本番ではなく複数回受験したことで会場の雰囲気を掴むことができ、落ち着いて問題を解けた	(栄)
・ 2つの学科を受験することで、中村学園大学の受験の雰囲気に慣れることができたこと。	(栄)
・ 自信をもって受験にのぞめた	(栄)
・ 同じ学科を2回受験できたことで二日目の受験の日は一日目より落ち着いて受験できた。	(栄)
・ 試験場の雰囲気に慣れることができる。	(フ)
・ 貴学について詳しく知れたこと。	(教)
・ 二回うけることで、雰囲気やその場になれることができる。	(教)
・ A方式で落ちた時にどうしようという不安が少なくなったこと。	(教)
・ 不安が薄れる	(教)
・ 受験当日まで模試などを受けなかったので、受験の雰囲気や場慣れができたこと。	(流)
・ 試験会場の雰囲気に慣れることができたこと。	(食)
・ 会場やアクセスに慣れる	(幼)

共通テストを利用してよかった（16件）

学部・学科

- ・共通テストでボーダー以上の得点だったので、気持ちに余裕をもって一般選抜を受けることができました。 (栄)
- ・共通テスト利用と一般選抜 (栄)
- ・共通テスト利用と一般選抜を受験。チャンスが増えたので、その分気持ちが落ち着きました。 (栄)
- ・共通テストの自己採点が大きく間違っていないと確認できた。落ち着いて解けた。 (栄)
- ・共通テストと一般選抜で併願することによって自分の学習したことをすべて活かせた。 (栄)
- ・共通テスト利用と一般選抜を併願することで、安心感がありました。 (栄)
- ・共通テスト利用と一般選抜を受験 (フ)
- ・共通テスト利用とA日程を受験。一般だけだと不安でA日程までに少し余裕をもてた。 (フ)
- ・後期共通テスト利用を併願 (フ)
- ・同じ学科を共通テスト利用と一般選抜で受験。 (教)
- ・共通テスト利用で受かると思っている人も必ず一般も受けるべき (教)
- ・共通テスト利用と一般選抜を受験 (教)
- ・国立の勉強をしていたので共通テストの結果で受けることができ一般選抜の対策をあまりしなくて済んだこと。 (教)
- ・共通テスト利用と一般選抜の2回合格できるチャンスが得られるから。 (教)
- ・共通テスト利用と一般選抜を受験 (教)
- ・共通テスト利用と一般選抜を受験 (教)

合格できる確率が高くなる（58件）

学部・学科

- ・A日程で不合格だったが後期で合格することができた。 (栄)
- ・自分の行きたい学校へ合格するチャンスが増える (栄)
- ・合格する確率が高くなる (栄)
- ・併願したことで合格できる可能性が増えた。 (栄)
- ・合格できる可能性が上がること。 (栄)
- ・合格する確率が上がるから。 (栄)
- ・二つの学科に合格することができ、最後によく考えて選択することができた。 (栄)
- ・合格の可能性が上がった。 (栄)
- ・一般選抜を二回受験したことによってA日程は不合格でも、B日程で合格することができたこと。 (栄)
- ・合格する可能性が高くなった。 (栄)
- ・第一志望の中村学園大学に合格できる可能性を広げられたこと。 (栄)
- ・少しでも合格する確率が上がること (フ)
- ・中村学園大学に通える確率が高くなるから。 (フ)
- ・合格する確率が上がった (フ)
- ・受かる確率が上がった。 (フ)
- ・中村学園大学に合格して学べるチャンスが増えたこと。 (フ)
- ・受かる確率が上がる (フ)
- ・合格率が上がりよりここで専門的な知識を得られると思ったから (フ)
- ・少しでも受かる可能性が広がる (フ)

合格できる確率が高くなる (58件)

学部・学科

- ・合格の確率が上がること。(教)
- ・受験する回数を増やすことで合格する可能性が高くなったこと。(教)
- ・合格するチャンスが1つでも多いと考えると少し不安が和らいだ(教)
- ・中村学園大学に合格したかったから(教)
- ・A方式で落ちてB方式、共通テスト利用で受かったので合格への道は多いほうが良いと思います。(教)
- ・合格確率が高くなった。(教)
- ・受かる確率が上がる。(教)
- ・後期の一般選抜で合格できたこと。(教)
- ・片方の日程で合格ができた。(教)
- ・合格の可能性が増える(教)
- ・大学に落ちてでも短大に合格できる。(教)
- ・自分がよくできた日に合格点に達すると、他の日に失敗しても合格できること。(教)
- ・前期が不合格でそこで後期入試を受けました。私立では第一希望だったから。(教)
- ・合格する可能性を少しでも高くすることができた。(教)
- ・どちらにも合格して自信がついた。(教)
- ・一般推薦受験。一般入試4大3回、短大1回受験短大のみ合格。自分の実力が分かかって良かった。(教)
- ・合格を勝ち取れた。(流)
- ・併願にするほうが受かる確率が上がること(流)
- ・A日程で落ちたがB日程で合格したため(流)
- ・中村の4年大と短大両方を受けることで中村に通える確率が上がることに安心感がありました。(流)
- ・合格をもらえる可能性が広がるし、チャンスも二回できる。(流)
- ・合格の可能性が増すこと(流)
- ・チャンスがある分合格の可能性が高まるのがいいところだと思います。(流)
- ・中村学園に入学できる確率が高くなること。(食)
- ・併願したところすべてに合格していたこと(キ)
- ・短期大学に合格できたのでよかったです。(キ)
- ・同じ学科を二回受験することによって第二志望制度に合格することができたから。(キ)
- ・大学には不合格になってしまったが他からの道で進学することができてよかったです。(キ)
- ・大学と短大を併願して大学は不合格だったけど短大には合格することができてたのでよかったです(キ)
- ・短大のほうに合格できたこと。(キ)
- ・合格の幅が広がった(キ)

合格できる確率が高くなる (58件)

学部・学科

- ・合格できるチャンスが増えること。(幼)
- ・合格する確率を上げたかったから。(幼)
- ・受験できる日程が2日間あり、第二志望制度もあったので、合格できる可能性があがること。(幼)
- ・合格できるチャンスが増えたことが良かったと思う(幼)
- ・合格の可能性が少し上がる(幼)
- ・合格する機会が増える。(幼)
- ・大学を推薦で受験して、不合格だったけど短大で合格出来て中村に進学するという目標が達成できたこと。(幼)
- ・同じ学科を2回受けれるし、第二志望制度で短大の合格まで出るから。(幼)

選択の幅が広がった (43件)

学部・学科

- ・二つの学科に合格することができ、最後によく考えて選択することができた。(栄)
- ・大学と短大を受験(栄)
- ・一般の前期にB方式で受かっていたのでA方式だけしか受けていなかったら本学に行けなかったからよかった。(栄)
- ・同じ学科を2回受けられた(栄)
- ・共テがダメだったり序盤でやらかしても巻き返しができるから。(栄)
- ・栄養科学部栄養科学科2回受験(栄)
- ・大学と短大を併願できることでしたい分野に受かりやすい!(栄)
- ・同じ学科に共テ利用も含めて3回もチャレンジできたこと。(栄)
- ・2つ以上の学部を受験できたこと。(フ)
- ・2つ以上の学部を受験(フ)
- ・同じ学科を2回受験できた(フ)
- ・同じ学科を2回(フ)
- ・違う学部を受験できた(フ)
- ・A方式で落ちてB方式、共通テスト利用で受かったので合格への道は多いほうがいいと思います。(教)
- ・入学の手続きの資料が2つあるのが便利だった。(1つは自分が持ってもう1つは父が持って確認)(教)
- ・大学と短大を受験(教)
- ・たくさん受けれた事(教)
- ・受験に落ちた時の安心材料(教)
- ・大学と短大を受験して、同じ学科を2回受験して問題傾向になれることが出来ました。(教)
- ・二回受けれた(教)

選択の幅が広がった (43件)

学部・学科

- ・ 共通テストがうまくいかなかったもの、一般で合格することができたので受けていてよかったです。(流)
- ・ 共通テストがうまくいかなかったもの、一般で合格することができたので受けていてよかったです。(流)
- ・ 短大を併願していたことで、大学が追加合格になる前に進学先があったので、よかったと思います。(流)
- ・ A方式とB方式があるのはかなり大きいです。ぼくはBで受かりました。(流)
- ・ 大学と短大を受験(流)
- ・ 同じ学科を2回受験」(前期Aと前期B)(流)
- ・ 1回目ミスっても2回目でリカバリーできた(流)
- ・ 短大と大学に併願することで、大学に進学できないという状況になることを防ぐことが出来ました。(食)
- ・ 合格の幅が広がった(キ)
- ・ 大学と短大を受験することができた。(キ)
- ・ 総合型と一般選抜を受験(キ)
- ・ 大学と短大を受験(キ)
- ・ 受験の幅が広がった(幼)
- ・ 一回のテストでどちらも受けれたので他の大学のテストにも力を入れることができた(幼)
- ・ もし不合格で進学先がない状況時に、併願制度があることで、堂々と第一志望をうけることができることです(幼)
- ・ 大学の学科は不合格だったけど、短大には合格できた。(幼)
- ・ 大学と短大を受験することで、大学に落ちてでも短大に入学できた(幼)
- ・ 大学と短大を受験(幼)
- ・ 大学と短大を受験(幼)
- ・ 公募推薦と一般入試を受験(幼)
- ・ 中村学園大学へ何度も挑戦できたことです。(幼)
- ・ 第一希望がダメだった時に第二希望で同時に短大の方も受験できるという入試制度がよかった。(幼)
- ・ 第二志望制を受けられること(幼)

合格することができた (7件)

学部・学科

- ・ 後期で受かることができた。(栄)
- ・ 前期で落ちたけど、後期で受かった。(教)
- ・ 前期はダメだったが最終的に受かったので後期を受けて良かったと思った(流)
- ・ 前期入試で落ちたけど、後期入試で受かったこと。(流)
- ・ 自分の志望の大学に入学することができたこと。(キ)
- ・ 何とか引っかけることができた(キ)
- ・ 学部は違えど中村に通えたこと。(幼)

滑り止め・受け皿になる (3件)	学部・学科
・どちらが落ちた時のためにしてよかった	(教)
・第一志望のところに行けなくても第二志望のところから第一志望のところに行ける望みがあること。	(食)
・一つの受験で滑り止めのようなことができること	(食)

その他 (23件)	学部・学科
・同じような問題で傾向をつかみやすかった	(栄)
・同じ学科を二回受験して、片方落ちたけど一つ受かって入学することができたから。	(栄)
・二日目の対策をしながら受験勉強に取り組めること。	(栄)
・問題の出題傾向をつかめたことです。	(フ)
・貴校の大学に入学したかったため。	(フ)
・失敗しても挽回できる。	(フ)
・A方式で手応えがなかった時にB方式がまだ残っているからと希望を持って残りの試験もがんばることができた。	(フ)
・短大から大学に編入できるのでいろんな可能性がある	(教)
・テストの難易度	(教)
・一般選抜で特待生候補になれたこと。共テ利用だけでは受かるか不安だったので複数制度があったこと。	(教)
・中村学園大学の出題傾向をより知ることができた。	(教)
・2回希望があると思って頑張れたから。	(教)
・1日目が受かっていて、他の日は落ちてたので、2回受けてて良かったです。	(教)
・どちらかに受かっていれば後期を受けなくて済む	(教)
・本学まで行ったこと	(教)
・受からないと思っていたところでひっかかっていた	(食)
・併願をしたため学力が衰えなかった。	(食)
・第1志望は叶わなかったけど栄養について勉強出来ること。	(食)
・色々な受験問題を解くことができたこと。	(食)
・一回の入試で複数の学部の可否を出すことができる。(無料で)	(幼)
・後期に受けるということをしなくてよかったこと。	(幼)
・確実に貴学に入学したかったからです。	(幼)
・四年制ではあまり自信がなかったため。	(幼)